

カグヤコウモリ

Myotis frater Allen

コウモリ目ヒナコウモリ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー なし

選定理由

全国的にも分布している県が少なく、本県においても生息の確認場所が少ない。

国内分布

本州の岐阜・石川両県以北、北海道から知られるが、分布が確認された都道府県は10に満たない。

県内分布

白山地域を中心とした山地帯で見られる。

生態

1年を通じて樹洞を屋間のねぐらとするものと思われるが、少数が洞穴にいた例も知られるほか、ときどき家屋内で100頭を越える大きな繁殖集団を作ることが知られている。初夏に1仔を出産。出生後は約30日で親と同じくらいの大きさになり飛翔を始める。雌は1年3～4ヶ月で交尾し、満2才で出産する。夜に飛翔する昆虫類を捕食する。

生息地の条件

本州中部地方より北の自然林に生息する。

生存の危機

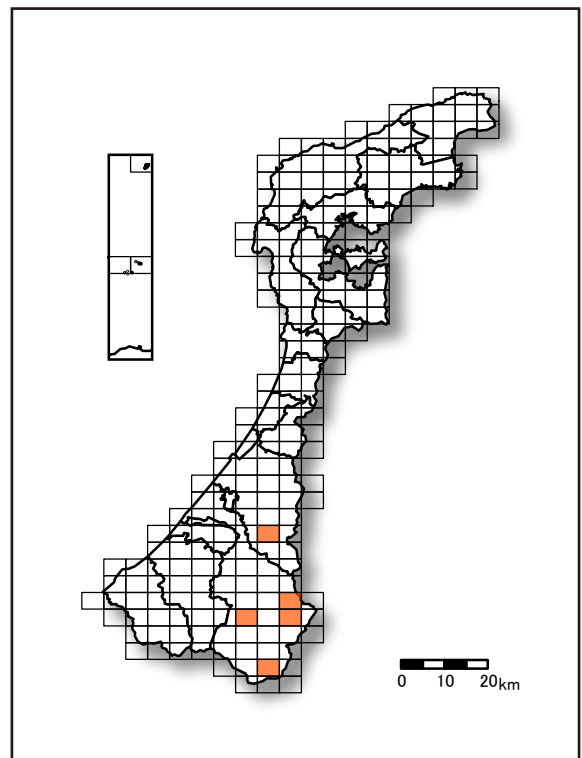
生息可能な森林が急速に減少しており、森林の保護が望まれる。(A)

特記事項

白山地域での生息個体数は、かなり多いものと予想される。広範囲にカグヤコウモリの生息可能な樹洞かそれに類した構造物が存在しているものと考えられる。以上より白山地域の森林（特に樹洞を持つような巨木のある森）の保護が望まれる。

参考文献

- 佐野明・上馬康生 1981. 白山地域に生息する翼手類について、石川県白山自然保護センター研究報告. 7: 23-29.
- 山本輝正 1998. 3-1-2 哺乳類 コウモリ目、環境庁委託 平成9年度 生態系多様性地域調査(白山)報告書. 142-147.
- 山本輝正・野崎英吉 2002. 白山地域におけるコウモリ目相、石川県白山自然保護センター研究報告. 29: 73-76.
- 山本輝正・上馬康生・野崎英吉 2005. 石川県白山地域のコウモリ相調査—1998年～2005年の調査結果より—. 石川県白山自然保護センター研究報告. 32: 25-30.



県内の分布